

サンゴ増殖体験②

「海の恵み」

「サンゴ増殖体験」

講師：

与論町漁業協同組合

阿多美智雄さん（組合長）

箕作広光さん（参事）

共和コンクリート工業(株)さん



茶花小学校 5 年生

那間小学校 4、5 年生

与論小学校 5 年生

取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2020.12.11 & 12

令和 2 年度与論町海洋教育

09 号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国 10 の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

12 月 11、12 日、与論町漁業協同組合の研修室にて、町内 3 小学校対象に海洋教育授業を実施して頂きました。鹿児島大学松岡翠さん（技術職員）、藤枝繁先生（特任教授）、与論町漁業協同組合、共和コンクリート工業(株)のご協力で「サンゴやサンゴ礁」、「漂着物」、「海の恵み」について学び、その後サンゴ増殖体験をさせて頂きました。



与論町漁業協同組合 箕作さんからのお話「与論の海を次の世代へ残そう」の時間では、海洋資源を守るために私たちができることを教えて頂きました。ニュースなどで耳にする環境の変化による海洋生物への影響に加え、具体的にどのようなルールを私たちが守ると海洋資源を守ることができるのか教えて下さいました。普段、漁業に従事している方から直接お話を聞いたことは、子どもたちにとって、とても貴重な時間になりました。

屋外では「サンゴ増殖体験」が実施されました。サンゴ増殖に使う土台の素材、どのようにサンゴが育っていくかなどお話をして頂いたあと、土台への取り付け方法を教えて頂きました。その後実際に一人ひとりサンゴを土台に取り付けていきました。海の中で流されないように、土台から外れてしまわないようにしっかりと取り付けました。

自分が関わったサンゴ増殖。その成長や今後環境に与える影響はより興味深いものになるだろうなと感じています。



沢山の方にご協力いただき、今回の授業、体験学習を実施する事が出来ました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。